

斯波貞吉 しばさだきち 新聞記者、政治家。明治二年八月十七日越前國生れ、
 昭和十四年十月十四日歿（八六一一九元）。斯波北莊の長男。帝國大學
 文科大學英文科選科卒業後イギリスへ渡り、オクスフォード大學（經
 濟學専攻）卒。歸朝後、盛岡中學校、佛敎大學等で教職。明治二十年
 操觚界に轉じ、朝報社に入りて外報記者となり英文欄擔當、のち言論
 部に移り編輯主任。二十八年山路愛山と國家社會黨結成。大正九年黑
 岩洪香歿後は常務取締役兼主筆に擧げられるも、その後同社を辭し、
 十四年東京大勢新聞創立し、際し社長兼主筆となつた。また東京府より
 出馬して衆議院議員に當選すること六回、り憲民政黨に所屬し評議員
 會長を務めた。

著書に『山崎知識と趣味（附録洋行者失策談）』（明治二十八年六月）
 『日本二十九年平民書房』、『日本難うせた勇三の腕』（昭和五年二月五日忠誠
 堂）等。

